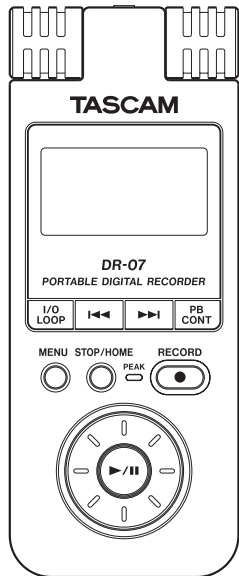
D01055601A

TASCAM
TEAC PROFESSIONAL

DR-07

Portable Digital Recorder

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠**警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

⚠警告

万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本体を絶対に分解しないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流（DC電源）には接続しないで下さい。火災の原因になります。

航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。

⚠注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器に、ACアダプターを接続する場合、専用のACアダプター（PS-P520）をご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激する様な大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
・湿気やほこりの多い場所
・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠警告（乾電池に関する警告）

乾電池は絶対に充電しないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠注意（電池に関する注意）

電池をいれるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、電池ケースの表示されているとおりに正しく入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

⚠注意（電池に関する注意）

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
液が目に入った時には失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いた時は皮膚の怪我・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

電池のセットや交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。

長時間使用しないときは電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

目次

目次

第1章　はじめに

このたびは、TASCAM DR-07をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいたうえで、十分に機能を発揮させ、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

主な機能

- SDカードを記録媒体とするポータブルレコーダー。
- 内蔵マイクを使った録音のほかに、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）のライン出力を接続して録音することが可能。
- 録音オーディオファイル形式はMP3（32kbps〜320kbps、44.1kHzまたは48kHz)、WAV（16ビットまたは24ビット、44.1kHzまたは48kHz）から選択可能
- 特殊再生機能（音程を変えないスロースピード再生、スピードを変えないキーの変更など）を装備。
- 本機とUSB接続しているパソコン上に保存されているオーディオファイルを本機のSDカードに転送（コピー）可能。

取扱説明書について

本書のほかにSDカード内の電子ファイルとして収録されています。

SDカード内の取扱説明書を見るには

付属のSDカードを本機にセットし、付属のUSBケーブルを使って、本機をパソコンに接続します（接続方法については「パソコンを接続する」（33ページ）をご覧ください)。

DR-07フォルダ内のManualフォルダに取扱説明書ファイルがあります。なおこのファイルを開くには、パソコンにAdobeReaderがインストールされている必要があります。AdobeReaderはインターネットから無償でダウンロードできます。

注 意

取扱説明書のデータは他のメディア（パソコンのハードディスク、CD-R等）にバックアップすることをお勧めします。

＊取扱説明書を消してしまった時には：
取扱説明書を削除してしまった場合は、弊社ウェブサイト(**http://www.tascam.jp/**)からダウンロードすることができます。

取扱説明書の表記について

- 本機および外部機器のキー／端子、画面に表示されるメッセージなどを「**MENU**キー」のように太字で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこんなふうに使うことができる、といったヒントを記載します。

メ モ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注 意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、録音したデータが失われたりする可能性がある場合に記載します。

構成

本機の構成は以下の通りです。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷がある場合、当社までご連絡ください。

- 本体　1
- SDカード（本体差込済み）　1
- USBケーブル　1
- 単三（AA）アルカリ乾電池　2
- ウインドスクリーン　1
- 取扱説明書（本書）　1
- 保証書　1

商標および著作権に関して

＊ SDロゴは商標です。

* SDHCロゴは商標です。

* Microsoft, Windows, Windows 2000, Windows XP, および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
* Macintosh, Mac OS, および Mac OS Xは、Apple Inc. の商標です。
* Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing. com.
* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
* その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは、各社の商標または登録商標です。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

SDカードについて

本機ではSDカードを使って記録や再生を行います。
使用できるカードは、64MB～2GBのSDカード、および4GB～32GBのSDHCカードです。
タスカムのウェブサイト（**http://www.tascam.jp/**）には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されています。

取り扱い上の注意

SDカードは精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を乗じることがあります。結露したときは約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。
化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール等で拭かないでください。表面を痛める原因となります。

アフターサービス

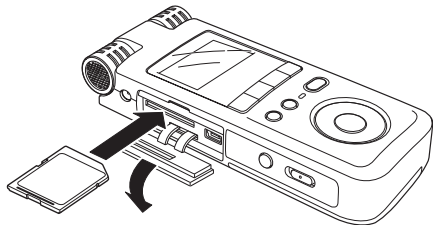
- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、業務用製品の場合は、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合は有償になります。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上、ティアック修理センターまでご連絡ください。

- 型名、型番（TASCAM DR-07）
- 製造番号（Serial No.）
- 故障の症状（できるだけ詳しく）
- お買い上げ年月日
- お買い上げ販売店名

SDカードをセットする

本機はSDカードを使って録音や再生を行います。

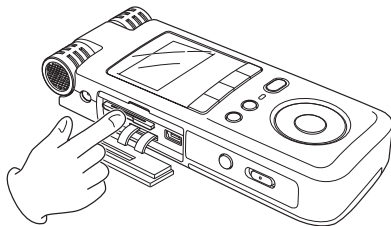
- 使用できるSDカードはSD、SDHC規格に対応したカードです。
- タスカムのウェブサイトには、当社でテスト済みのSDカードのリストが掲載されています。（http://www.tascam.jp/）

本機の左サイドパネルにSDカードスロットとUSBコネクタの蓋があり、ここにSDカードをセットします。
SDカードを間違った向きに挿入して無理に力を加えると、スロットやカードを破損する可能性がありますので、ご注意ください。

メモ

本機をお買い上げ時にはSDカードがセットされています。このSDカードをそのまま使って録音／再生を行う場合は、改めてセットし直す必要はありません。

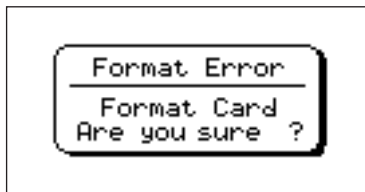
1. 蓋を矢印の方向に開きます。
2. SDカードスロット部にSDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。
3. カードをセットしたら、蓋をしめます。

＊SDカードを取り外すには：

セットされているカードを奥に押すと手前に出てきます。

注 意

本機の電源がオンのとき、およびパソコンとUSB接続中、本機からSDカードを取り外さないでください。カードを取り出すときは必ず電源をオフにしてからカードを取り出してください。

新しいカードをセットしたとき

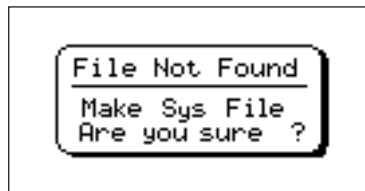
新しいカードをセットすると、以下のポップアップ画面が表示されます。

本機で使える状態にするには、►/❚❚キーを押してフォーマットを行ってください。
フォーマットが終わるとホーム画面が表示されます。

その他のケース

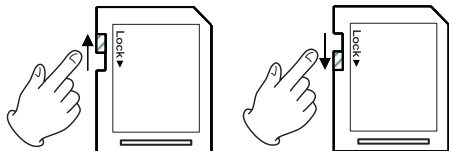
- 本機以外の機器でフォーマットしたSDカードをセットした場合も、上記の画面（**FORMAT ERROR**）が表示されますので、フォーマットを行ってください。

注 意

フォーマットを行うと、元のデータは全て失われます。

- パソコンからの操作で誤ってSDカード上のシステムファイルなどを削除してしまった場合、以下のポップアップ画面が表示されます。

この場合も、►/❚❚キーを押してフォーマットを行ってください。

カードのライトプロテクトについて

SDカードにはプロテクト（書き込み防止）スイッチがついています。

[書き込み可]　[書き込み不可]

スイッチを下にスライドするとファイルの記録や編集ができません。カードの内容を消去しないように保護したいときは、スイッチを下にスライドしてください。

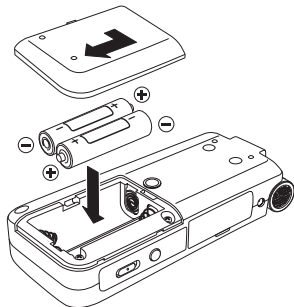
電源について

単三電池2本または別売のACアダプター［PS-P520］を使って本機に電源を供給します。本機はアルカリ乾電池の他にニッケル水素電池も使用することができます。

メモ

電池を使って本機に電源を供給するときは、**SETUP**画面の**BATTERY TYPE**項目を使って、使用する電池の種類を設定することができます。（ → 65ページ「電池の種類の選択」）

電池をセットする

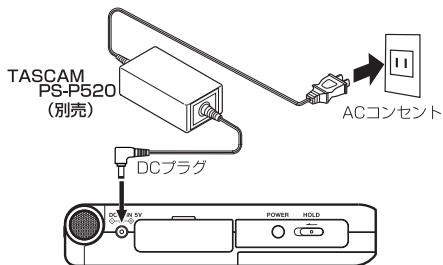
本機の裏面にある電池ボックスの蓋をスライドして取り外し、電池ボックス内の⊕と⊖の表示に合わせて、単三電池を2本セットします。

注 意

付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。

別売りACアダプターを接続する

別売のACアダプター［PS-P520］を使う場合。アダプターと本機、電源コードと電源アダプター、電源コードとコンセントをそれぞれ接続します。

メ モ

電池とACアダプターの両方をセットした場合、ACアダプターから電源が供給されます。

注 意

必ず指定のACアダプター［PS-P520］をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。

電源を入れる

本機の**POWER**キーを押し続け、画面に **"TASCAM DR-07"** と表示されたら離します。
本機が起動してホーム画面が表示されます。

［ 起動画面 ］

［ ホーム画面 ］

＊電源を切るには：

POWERキーを押し続け、画面に "**PORTABLE DIGITAL RECORDER**" と表示されたら離します。

シャットダウン処理が実行された後に、電源がオフになります。

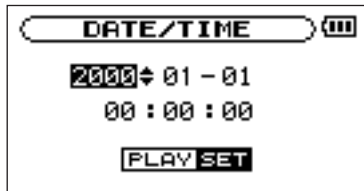
注 意

電源がオンのときに電池を外したり電源コードを抜くなどして電源を切らないでください。前回のシャットダウン処理の記録や設定が全て失われます。なお、失われたデータや設定は復活することができません。

日時を設定する

本機内蔵のクロックの日時を設定します。オーディオファイル作成時、ファイルデータとして日時が記録されます。

1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示します。
2. ホイールを使って**DATE/TIME**を反転し、**►/II**キーを押します。
   DATE/TIME画面が表示されます。

DATE/TIME
2000 01 - 01
00 : 00 : 00
PLAY SET

画面表示中はクロックが停止しています。

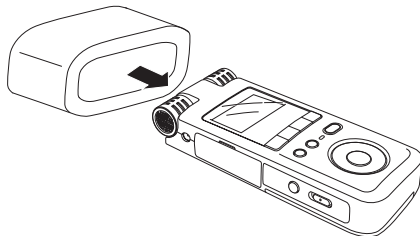
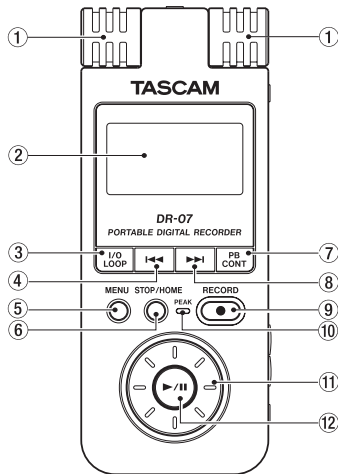
3. ⏮／⏭キーを使ってカーソル（反転表示部）を移動し、ホイールを使って値を設定します。

4. 設定後、►/❚❚キーを押すと、設定値からクロックが作動を始めます。
ディスプレイはメニューリスト画面に戻ります。

注 意

- 日時の設定内容は、電池およびACアダプターの接続が無い状態では、数分しか保持されません。
電池のみでお使いの場合は、電池が完全になくなる前に電池交換する事をお勧めします。
- ACアダプターでご使用の場合でも、電池を装備しておく事をお勧めします。これにより、ACアダプターを外しても設定を保持させておく事ができます。
- 設定がリセットされてしまった場合には、再度設定を行って下さい。

ウインドスクリーン

本体の内蔵ステレオマイク部にウインドスクリーンを被せることで、風などがあたることにより発生する雑音を軽減することができます。

トップパネル

① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサータイプのステレオマイクです。このマイクを入力ソースにするには、入力設定画面で**MIC**を選択します。なお、リアパネルの**MIC IN**端子にマイクを接続すると、内蔵マイクが無効になります。

② ディスプレイ

ホーム画面を表示する他、録音画面や各種設定画面などを表示します。（ → 26ページ「画面の概要」）

③ I/O LOOPキー

希望の「始点」と「終点」を設定し、更にその区間をループ再生します。また、ループ再生の解除にも使用します（ → 62ページ「ループ再生する」）

④ ⏮ キー

再生中あるいは途中で停止しているときにこのキーを押すと、曲の先頭に戻ります。

ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。

押し続けると早戻しサーチを行います。

設定画面表示中、画面内のカーソルを左に移動します。
ブラウザ画面では階層を戻ります。

⑤ MENUキー

ホーム画面表示中にこのキーを押すとメニューリスト（MENU画面）が表示されます。
各種設定画面を表示中にこのキーを押したときも、MENU画面に戻ります。
MENU画面表示中にこのキーを押すとホーム画面に戻ります。

⑥ STOP/HOMEキー

録音や再生を停止するときや、録音待機を解除するときに使います。
設定画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
また設定画面の操作では、確認メッセージに対して「NO」と答えるときに使います。

⑦ PB CONTキー

このキーを長押しすると、再生コントロール設定（PB CONTROL）画面が表示されます。PB CONTROL画面表示中にこのキーを長押しすると、ホーム画面に戻ります。（ → 60ページ「特殊な再生（再生コントロール機能）」）

このキーを短く押すと、PB CONTROL画面のスピードコントロール（VSAおよびSPEED項目）設定のオン／オフが切り換わります。オンのとき、ホーム画面上のSPEEDアイコンが反転します。

⑧ ►►I キー

再生中や停止中にこのキーを押すと、次のファイルにスキップします。
押し続けると早送りサーチを行います。
設定画面表示中、画面内のカーソルを右に移動します。
ブラウザ画面では階層を進みます。

メ モ

VBR（Variable Bit Rate）で作成されたMP3ファイルは、早送り／早戻しサーチをすると曲の経過時間と再生音がずれたり、曲の最後の部分を繰り返して再生する場合がありますが、一旦再生を止めれば正常な状態に復帰します。

⑨ RECORDキー

停止中に押すと、録音待機になり、キーが点滅します。
録音待機中に押すと、録音が始まり、キーが点灯に変わります。
録音中に押すと、録音一時停止になります。

⑩ PEAKインジケーター

選択中の入力信号がレベルオーバーすると点灯します。

⑪ ホイール

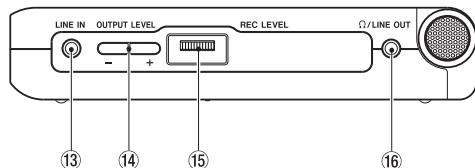
設定画面での操作時、項目を選択したり設定値の変更するときに使います。

ホーム画面表示時、ホイールを使ってファイルの再生位置を移動することができます。

⑫ ►/IIキー

ホーム画面表示中、停止中に押すと、再生を始めます。再生中に押すと、その位置で停止します。

設定画面での操作時、選択を確定したり、階層を進んだり、確認メッセージに対して「**YES**」と答えるときに使います（**ENTER**キー機能）。

右サイドパネル

⑬ LINE IN端子

ステレオミニジャックのライン入力端子です。

⑭ OUTPUT LEVEL（＋、−）キー

Ω/LINE OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。

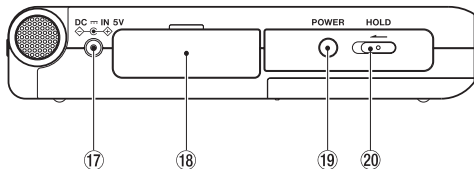
調整中、ボリューム位置がディスプレイに表示されます。

⑮ REC LEVELボリューム

内蔵マイク、MIC IN端子、LINE IN端子からの入力信号の入力レベルを調節します。

⑯ Ω/LINE OUT端子

ヘッドホンまたはアンプなどのライン入力端子に接続します。録音中または録音待機中は入力信号が、それ以外の場合は再生信号が出力されます。

左サイドパネル

［ カード部の蓋を開いた状態 ］

⑰ DC ⎓ IN 5V端子

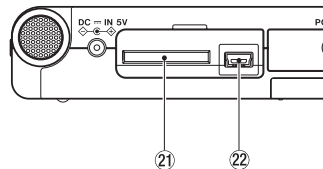
別売の専用AC アダプター [PS-P520] を接続します。それ以外のACアダプターは接続しないでください。

⑱ SDカードスロット蓋

⑲ POWERキー

長押しすることにより、電源のオン／オフを行います。

⑳ HOLDスイッチ

左（ON）側にセットするとホールド機能が働きます。ホールド中はすべてのキー操作を受付けません。

㉑ SDカードスロット

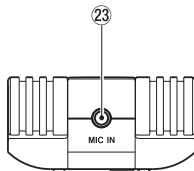
SDカードをセットします。（ → 14ページ「SDカードをセットする」）

㉒ USBポート

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続するためのUSBポートです。（ → 33ページ「パソコンを接続する」）

注 意

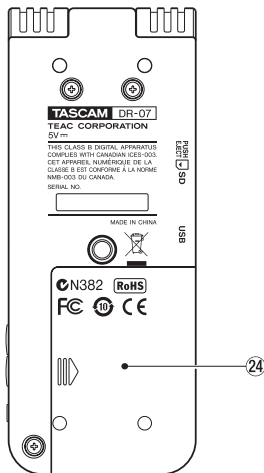
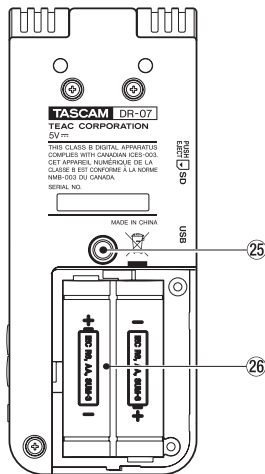
パソコンとの接続はUSBハブを経由せずに、直接接続してください。

リアパネル

㉓ MIC IN端子

ステレオミニジャックのマイク入力端子です。
プラグインパワーに対応しています。
設定は**INPUT SETTING**画面を使って行います。

メ モ

MIC IN端子に接続されたマイクが内蔵マイクに優先されます。

ボトムパネル

㉔ 電池ボックス蓋

[電池ボックス蓋を外した状態]

㉕ 三脚固定ネジ（1／4インチ）

本体に三脚またはマイクスタンドを取り付けることができます。

注 意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のねじを確実に締めて下さい。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚またはマイクスタンドを水平な場所に置いて下さい。

㉖ 電池ボックス

本機の電源になる電池（単三乾電池、2本）を収納するボックスです。

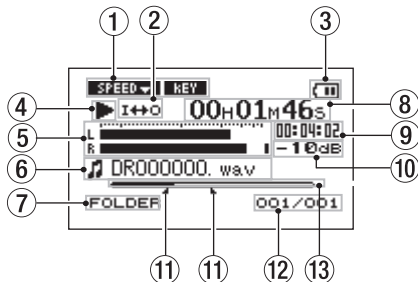
第4章　画面の概要

本機のディスプレイにはさまざまな画面が表示されます。

- 通常の再生時や停止時はホーム画面が表示されます。
- 録音時や録音待機時は録音画面が表示されます。
- 各種設定時はそれぞれの設定画面が表示されます。

以下にホーム画面、録音画面の表示と操作、および各種設定画面の概要と操作を説明します。

ホーム画面

以下にホーム画面の表示項目を説明します。
各設定画面や録音画面については、それぞれの説明個所をご覧ください。

① 再生コントロール機能の設定状態

各再生コントロール機能（スピードコントロール、キーチェンジ）が現在有効かどうかを表示します。有効なとき、反転表示になります。（ → 60ページ「特殊な再生（再生コントロール機能」）

② ループ／リピート設定状態

状況に応じて以下のアイコンを表示します。

SINGLE：シングル再生中

：1曲リピート中

ALL：プレイエリア内の全曲中

I↔O：ループリピート中

③ 電源状態表示

電池駆動時は、電池アイコンを表示します。
電池交換が必要な場合は、点滅で知らせます。
電池残量に応じて目盛りが表示されます（、、）。
目盛り表示がなくなると が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。
別売のACアダプター使用時は AC を表示します。

④ レコーダー動作

レコーダーの動作状態をアイコン表示します。

►：再生中

❚❚：ファイルの途中で停止中

■：ファイルの先頭で停止中

►►：早送り中

◄◄：早戻し中

►►❙：次のファイルの先頭にスキップ

❙◄◄：現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑤ レベルメーター

録音中および録音待機中は選択中の入力信号レベルを、それ以外の場合は再生信号レベルを表示します。
入力オーバーになると、一番右のドットがしばらく点灯します。

⑥ ファイル情報

再生中のファイルのタグ情報またはファイル名を表示します。
ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合、ID3タグ情報が優先して表示されます。
ID3タグ情報を持たないMP3ファイル、およびWAVファイルの場合、ファイル名が表示されます。

メ モ

ID3タグ情報とは、MP3ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

⑦ 再生対象エリア

現在の再生対象エリアを表示します。

ALL：MUSICフォルダ内の全ファイル

FOLDER：MUSICフォルダ内のサブフォルダ内のファイル

P.LIST：プレイリストに登録されたファイル

⑧ 経過時間

再生中のファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑨ 残量時間

再生中のファイルの残量時間（時：分：秒）を表示します。

⑩ dB表示

一定時間毎に、その期間のレベルの最大値を、デシベル表示します。

⑪ ループの始点／終点設定状況

ループ再生の始点／終点の設定状況を表示します。

始点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に " ◢ " が表示されます。

終点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に " ◣ " が表示されます。

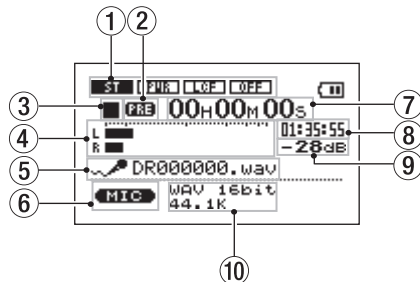
⑫ 再生ファイル番号／総ファイル数

再生対象エリアの総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

⑬ 再生位置表示バー

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

録音画面

RECORDキーを押して録音待機にしたとき、および再度RECORDキーを押して録音を実行しているときに表示されます。

電源表示、ホーム画面と同じです。これらの他に以下の表示があります。

① マイク入力の設定状態

内蔵マイクまたはリアパネルの**MIC IN端子**に関する設定（ステレオ録音、プラグインパワー、ローカットフィルター、レベルコントロール）の状態を表示します。

② プリレックの設定状態

プリレック設定状態のとき、**"PRE"** を表示します。

③ レコーダー動作

●：録音中

❚❚：録音一時停止中

■：録音待機中

④ 録音レベルメーター

選択中の入力から入力信号のレベルをL、Rチャンネル別々に表示します。

⑤ ファイル名

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

⑥ 入力選択

入力ソースを表示します。

⑦ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。録音待機時は録音可能な時間の表示となります。

⑧ 録音残時間

録音の残時間（時：分：秒）を表示します。

⑨ dB表示

一定時間毎に、その期間のレベルの最大値を、デシベル表示します。

⑩ 録音モード

録音ファイルの形式／サンプリング周波数を表示します。

設定画面

本機ではディスプレイに表示される各種設定画面を使って、さまざまな設定や操作、あるいは情報表示を行います。

メ モ

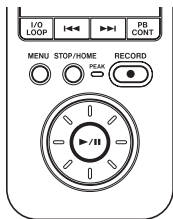
各種設定画面では、設定の他に、機能実行、情報表示なども行いますが、本書では「設定画面」と呼びます。

設定画面の構成

各設定画面には、メニューリスト画面（**MENU**画面）を呼び出し、この画面からアクセスするものと、専用キーから直接アクセスするものがあります。
次のページに設定画面構成をまとめます。

画面	概要	呼び出し方法
INFORMATION	ファイル情報表示、環境設定、システム情報表示	MENUキー → MENU画面
BROWSE	MUSICフォルダ内部の音楽ファイル／フォルダ表示、ファイルの再生／削除／プレイリスト登録、フォルダの作成／選択	MENUキー → MENU画面
PLAY LIST	プレイリストの編集（曲の削除、移動）	MENUキー → MENU画面
PLAY MODE	再生モードの設定、シングル、リピートモードの設定	MENUキー → MENU画面
INPUT SETTING	入力ソースの選択、内蔵マイク／MIC INに関する設定	MENUキー → MENU画面
REC SETTING	録音に関する設定（ファイル形式、Fs、最大ファイルサイズ）プリレック機能およびレコディレイ機能のオン／オフ	MENUキー → MENU画面
DIVIDE	ファイル分割の実行	MENUキー → MENU画面
SETUP	各種環境設定、イニシャライズ、フォーマット	MENUキー → MENU画面
DATE/TIME	内蔵クロックの日時設定	MENUキー → MENU画面
PLAYBACK CONTROL	再生コントロール機能の設定	PB CONTキーの長押し

操作の基本

各種設定画面の操作にはMENUキー、►/❚❚キー、ホイールおよび ⏮ / ⏭ キーを主に使います。そのほかに、STOP/HOMEキーを使う場合もあります。それぞれ、以下の働きをします。

MENUキー：

このキーを押すと、メニューリスト画面（MENU画面）が表示されます（MENU画面表示中および録音画面表示中を除きます）。

MENU画面表示中にこのキーを押すと、ホーム画面に戻ります。録音画面表示中にこのキーを押すと、メニューとしてINPUT SETTINGのみが表示されます。この場合、INPUT SETTINGでは、INPUT項目以外の設定変更が可能です。

ホイール：

項目を選択したり、値を変更するときに使います。

►/❚❚キー：

項目選択を確定したり、確認メッセージに対して「**YES**」と答えるときに押します（いわゆる「ENTERキー」としての機能）。

⏮キー：

設定画面表示中、画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動します。設定項目の値の設定を行った後、項目選択に戻すときなどに使います。

⏭キー：

設定画面表示中、画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動します。多くの場合、►/❚❚キーでも操作できます。

STOP/HOMEキー：

設定画面表示中、ホーム画面に戻るときに押します。ただし確認メッセージ表示中は「**NO**」と答えるときに押します。

メモ

再生中も、メニュー操作を行うことができます。

実際の操作例

例として、**SETUP**メニューの**CUE/REV SPEED**項目を使って、「早送り／早戻しのスピード」を変更してみましょう。

1. ホーム画面表示中に**MENU**キーを押します。
MENU画面が表示されます。

メモ

上図のように画面右下部の "▼" 表示は、現在の画面表示より下にまだ表示内容があることを示しています。
現在の画面表示より上にまだ表示内容がある場合は "▲" が表示されます。

2. ホイールを回して**SETUP**を反転表示し、**►/II**キーを押します。
SETUP画面が表示されます。

3. ホイールを回して**CUE/REV SPEED**項目を反転表示し、**►/II**キーを押します。
現在の設定値（初期設定では "**X8**" ）が反転表示になります。

メモ

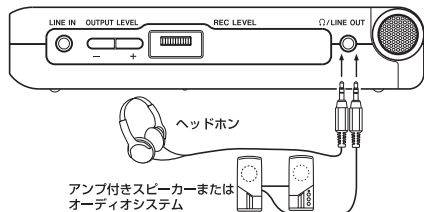
►/IIキーの代わりに**►►I**キーを使うこともできます。

4. ホイールを回して希望の設定にします。
そのまま設定が確定します。**►/II**キーを押す必要はありません。

メモ

設定値の右側に "▲" が表示されているとき、ホイールを右に回すと別の値に変わり、"▼" が表示されているとき、ホイールを左に回すと別の値に変わります。

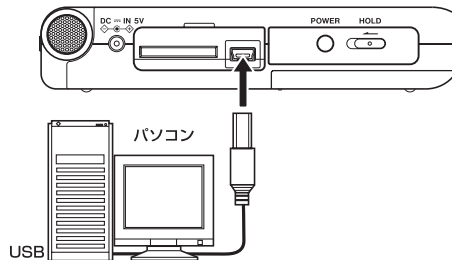
5. **STOP/HOME**キーを押すと、ホーム画面に戻ります。

モニターを接続する

本機のΩ/**LINE OUT**端子にヘッドホンまたはモニターシステム（アンプ内蔵スピーカー、アンプ／スピーカーシステムなど）を接続します。

パソコンを接続する

本機とパソコンを接続することにより、パソコン上の音楽ファイル（WAVまたはMP3形式）を本機に転送（コピー）したり、パソコンから本機のファイルの削除やフォルダ操作を行うことができます。

パソコンと接続するには、本機の左サイドパネルの蓋を開き、付属のUSBケーブルを使って、本機の**USB**ポートとパソコンの**USB**ポートを接続します。

注 意

USB接続中は、本機の操作はできません。

接続すると本機の画面に、**"USB connected.."** が表示されます。

パソコンの画面に、本機が **"DR-07"** というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

"DR-07"ドライブの中には、MUSICフォルダ、UTILITYフォルダおよび取扱説明書のPDFデータを収録したMANUALフォルダがあります。

接続を外す

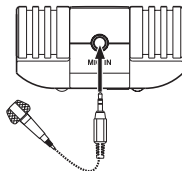
パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。本機が自動的に再起動します。

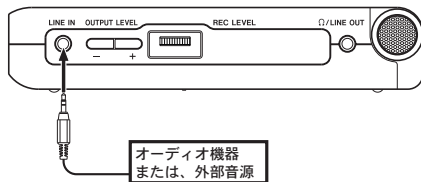
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

外部のマイクやオーディオ機器を接続する

本機にはステレオマイクが内蔵されていますので、これを使って録音や歌の練習などを行うことができますが、外部の音源を入力することもできます。外部音源はライン入力端子またはマイク入力端子から入力します。これらの端子を使った接続について説明します。（接続に伴う設定や入力レベル設定については「録音する」（40ページ）をご覧ください。

MIC IN端子に接続する

リアパネルの**MIC IN**端子（ステレオミニジャック）にワンポイントステレオのエレクトレットコンデンサーマイクなどを接続することができます。**INPUT SETTING**画面を使って、オートゲインやローカットフィルターなどの設定を行います。（ → 41ページ「入力ソースを選択する」）

LINE IN端子に接続する

右サイドパネルの**LINE IN**端子（ステレオミニジャック）にオーディオ機器のライン出力などを接続することができます。

メ モ

この端子の入力信号に対しては、オートゲイン機能やステレオ・モノ切り替えを行うことができません。

第6章　パソコンから曲を取り込む

本機では、再生用素材として、パソコンからオーディオファイルをUSB経由で転送することができます。
なお、本機で扱うことができるオーディオファイル形式は、MP3（32kbps〜320kbps、44.1kHz／48kHz）およびWAV（44.1／48kHz、16／24ビット）です。

メモ

DR-07とパソコンをUSB接続する代わりに、DR-07からSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。

パソコン上にオーディオファイルを準備する

パソコンの機能／ソフトウェアアプリケーションを使って、CDの楽曲などをパソコンに取り込みます。
パソコンに取り込むときに、最終的にDR-07に取り込むファイルの形式（上記のMP3、WAV）に合わせて、ファイル形式を選んでください。

パソコンからオーディオファイルを取り込む

1. 本機とパソコンを接続します。（→ 33ページ「パソコンを接続する」）

2. パソコン上の **"DR-07"** ドライブをクリックして開きます。
   UTILITYフォルダ、MUSICフォルダが表示されます。

3. パソコン上の希望のオーディオファイルをMUSICフォルダにドラッグ＆ドロップします。
   オーディオファイルが本機にコピーされます。

ヒント

パソコン上の操作で、MUSICフォルダ内を管理することができます。

- MUSICフォルダ内にサブフォルダを作成することができます。サブフォルダは2階層下まで作成できます。3階層目およびこれ以下の階層のフォルダおよびオーディオファイルはDR-07では認識できません。本機ではフォルダ内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整

理しておくと便利です。（ → 58ページ「フォルダ操作」）

- サブフォルダや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機の画面に表示されます。

4. コピーを終えたら、パソコン側でDR-07の接続を解除してから、USBケーブルを抜きます。
   パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
   本機が再起動します。

第7章　基本再生

ホーム画面表示中、►/❚❚キー、⏮キー、⏭キーを使って、通常のCDプレーヤーなどと同じように操作します。またホイールを使って再生位置の移動ができます。

メ モ

ホーム画面を表示していないとき、これらのキー／ホイールは別の働きをします。

以下の説明は、本機で再生可能なオーディオファイルを収録したSDカードがセットされていることを前提にしています。

メ モ

TASCAM DR-1、GT-R1でフォーマットされたSDカードも使用できます。

再生する

停止中に►/❚❚キーを押すと、再生を始めます。

停止する

再生中に►/❚❚キーまたは**STOP/HOME**キーを押すと、その位置で停止します。

ファイルを選ぶ

再生中や停止中に⏮／⏭キーを使ってファイルを選択します。

再生中あるいはファイルの途中で停止しているときに⏮キーを押すと、ファイルの先頭に戻ります。

ファイルの先頭で停止しているときに⏮キー押すと、手前のファイルにスキップします。

⏭キーを押すと、常に次のファイルにスキップします。

メ モ

- 再生できるファイルは、再生エリア内のファイルです。（→ 50ページ「PLAY MODE画面を使って再生エリアを設定する」）
- 再生中のファイル情報（曲名など）やファイル番号がディスプレイ上に表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレイに動作アイコン "■" を表示します。ファイルの途中で停止しているときは､動作アイコン "❚❚" を表示します。

早戻し／早送りする

⏮／⏭キーを押し続けると早戻し／早送りサーチを行います。

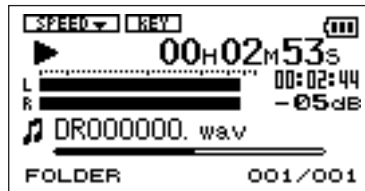
メ モ

SETUP画面の**CUE/REV SPEED**項目を使って、サーチスピードを設定することができます。（ → 64ページ「環境設定など」）

ホイールを使って再生位置を移動する

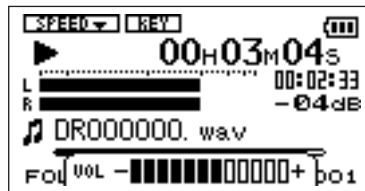
ホイールを使って、ファイル内の再生位置を移動することができます。

ホイールを回すと、再生位置表示バーの示す位置が変わり、再生位置が移動していることが確認できます。

また、ホイールを回す早さに応じて移動量が変わります。

メ モ

ホイールを回している間、音声は出力されません。

音量を調節する

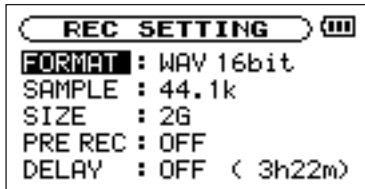
Ω **/LINE OUT**端子から出力されるモニター信号の音量を、**OUTPUT LEVEL（+、−）**キーを使って調節します。調整中、ボリューム位置がディスプレイに表示されます。

第8章　録音する

本機は内蔵マイクを使った録音の他に、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）を録音することができます。録音オーディオファイル形式はMP3（32kbps～320kbps、44.1kHz／48kHz)、WAV（44.1／48kHz、16／24ビット）から選択可能です。

ファイル形式／サンプリング周波数を選択する

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を選択します。

1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示し、**REC SETTING**を反転して**►/❚❚**キーを押します。
   REC SETTING画面が表示されます。

```
REC SETTING
FORMAT  : WAV 16bit
SAMPLE  : 44.1k
SIZE    : 2G
PRE REC : OFF
DELAY   : OFF  ( 3h22m)
```

2. **FORMAT**項目で、ファイル形式を選択します。
   以下の中から選択できます。

選択肢：**WAV 16bit**（初期設定)、**WAV 24bit**、**MP3 32kbps**、**64kbps**、**96kbps**、**128kbps**、**192kbps**、**256kbps**、**320kbps**

メ モ

WAVはデータ圧縮をしない音質重視のファイル形式ですが、メモリーをたくさん使います。MP3はデータを圧縮するファイル形式ですので、メモリーをあまり消費しません。

3. **SAMPLE**項目で、サンプリング周波数を選択します。
   44.1kHz（初期設定）または**48kHz**を選ぶことができます。

メ モ

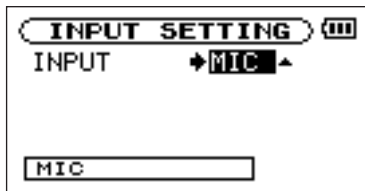
その他特殊な録音機能に関しては、46ページの「録音時の特殊機能」をご覧ください。

入力ソースを選択する

以下の手順で入力ソースを選択します。

メモ

録音時、入力ソースが録音ソースになります。

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、INPUT SETTINGを反転して►/❚❚キーを押します。
INPUT SETTING画面が表示されます。

2. INPUT項目で希望の入力ソースを選択します。

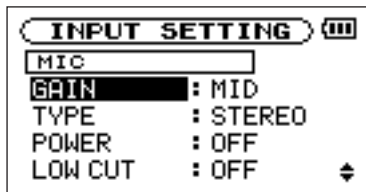
● MIC：
MIC IN端子（ステレオミニジャック）にマイクケーブルを接続していないときは内蔵マイク、接続しているときはMIC IN端子に入力されるマイク信号が録音ソースになります。
MIC選択時は、入力の機能の設定を行います。（ →42ページ「マイク入力の機能を設定する」）

● LINE：
右サイドパネルのLINE IN端子（ステレオミニジャック）に入力される信号が録音ソースになります。

注意

マイクを使って録音を行うときは、モニターはヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できなかったり、ハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。

マイク入力の機能を設定する

INPUT項目でMICを選択した場合、◀◀ キーを押してINPUTを反転させてから、ホイールを右に回します。**マイク**入力の機能設定画面になります。

この画面には以下の設定項目があります。これらのうち、POWER項目はMIC INに対してのみ有効です。それ以外の項目は、内蔵マイクとMIC INどちらに対しても有効です。

GAIN

入力の感度（HIGH、MIDまたはLOW）を選択します。初期設定は "MID" です。入力レベルが低すぎるときは "HIGH" を、入力レベルが高いときは "LOW" を選択してください。

TYPE

接続するマイクに応じて、ステレオ（STEREO）またはモノラル（MONO）を選択します。初期設定はSTEREOです。"MONO" を選択すると、L入力信号とR入力信号がミックスされた信号が、L/Rそれぞれのチャンネルに供給されます。

POWER

プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したとき、"ON" に設定します。初期設定はOFFです（内蔵マイク使用時はOFFとしてください）。

注 意

ダイナミックマイクや電池内蔵のマイクを接続するときは "OFF" に設定してください。"ON" にするとマイクの故障の原因になる恐れがあります。

LOW CUT

ローカットフィルターの設定を行います。
初期設定はOFFです。"40Hz"、"80Hz" または "120Hz" を選択すると、それぞれのカットオフ周波数を持つローカットフィルターが働きます。

メ モ

屋外での録音などで風の音が入る場合は "OFF" 以外に設定してみてください。

LEVEL CTRL

レベルコントロールの機能を設定します。
初期設定は "OFF" です。

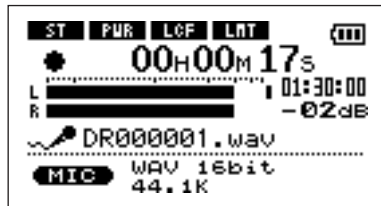
AUTOにすると
入力レベルに応じて本機の入力ゲインが変化し、大きい音も小さい音も一定のレベルになります。

LMTにすると
入力レベルに応じて本機の入力ゲインが変化し、大きい音が入力されても歪まないようなレベルになります。

メ モ

ライブなどで不意に大きな音が入力されてしまう時に "LMT" にすると、過大入力を防いで歪みのない録音ができます。

録音画面上の入力機能表示

録音画面上にTYPE、POWER、LOW CUT、LEVEL CTRLの設定状況がアイコン表示されます。

ST：　TYPE項目を "STEREO" に設定すると反転します。

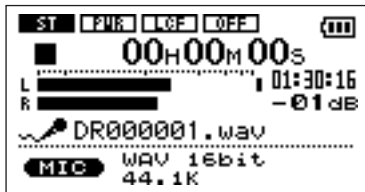
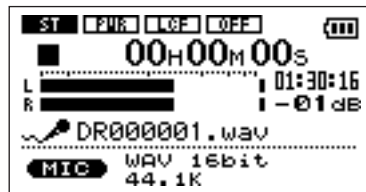
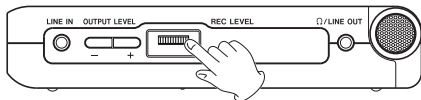
PWR：POWER項目を "ON" に設定すると反転します。

LCF：　LOW CUT項目を "40Hz"、"80Hz" または "120Hz" に設定すると反転します。

LMT：　LEVEL CTRL項目を "AUTO" または "LMT" に設定すると反転します。

録音入力レベルを調節する

録音レベルを調節することができます。
以下に録音画面を使ってレベル設定を行う手順を説明します。

1. RECORDキーを押して録音待機にします。
キーが赤く点滅し、ディスプレイが録音画面になります。
Ω/LINE OUT端子からは、入力信号が出力されます。

2. 右サイドパネルのREC LEVELボリュームを使って、マイクの入力レベルを調節します。

入力レベルがL/Rメーターに表示されます。入力が高過ぎると、レベルメーターの右端、およびRECORDキーの左にあるPEAKインジケーターが点灯します。PEAKインジケーターが点灯する手前ぐらいにレベルを設定してください。

● 入力ソースとしてMICを選択して内蔵マイクまたはMIC IN端子を使っているとき、REC LEVELボリュームを最大にしてもレベルが低い場合は、**マイク**入力の機能設定画面でGAIN項目をより高い設定にしてください。（ → 42ページ「マイク入力の機能を設定する)」

ヒント

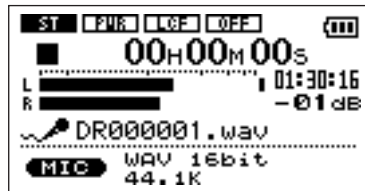
- REC LEVELボリュームの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。
- 音源からの音を最も効果的に正しく録音するには、LCDを上に向けた状態で、DR-07の先端のマイク部をしっかり音源に向ける事が基本です。

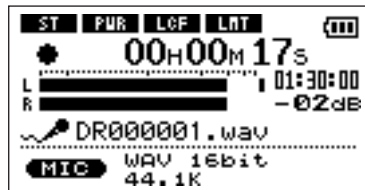
メモ

録音待機を解除するには**STOP/HOME**キーを押します。

録音をする

以下の操作手順は、すでに入力が選択され、レベル調整を終え、ホーム画面が表示されていることを前提にしています。

1. RECORDキーを押して録音待機にします。

画面には録音ファイル名とともに、入力ソース、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

2. 再びRECORDキーを押します。
録音が始まります。

録音が始まるとRECORDキーが点灯に変わり、ディスプレイには録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. 録音を終了するには**STOP/HOME**キーを押します。
   オーディオファイルが作成されます。

● 録音を一時停止するには**RECORD**キーを押します。再度**RECORD**キーを押すと、同じファイルに続きが録音されます。一時停止後に**STOP/HOME**キーを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

録音時の特殊機能

トラックインクリメント

マニュアルでのトラックインクリメント

録音中にファイル名の末尾をインクリメントして別ファイルとして録音を続けることができます。

1. 録音中に ►►I キーを押すと、ファイル名の末尾の数字がインクリメントされ、新しいファイルとして"**00H00M00S**" から録音が継続されます。
   ポーズ状態でもインクリメントが可能です。

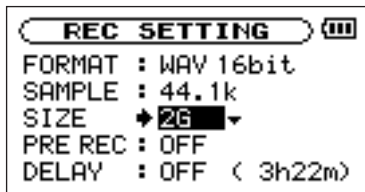
注 意

- ファイル総数が999を超える場合はインクリメントできません。
- ファイルの時間が2秒以内でのインクリメントはできません。
- インクリメントの際のファイル名と同名のファイルが存在する場合、次のファイル名となります。

ファイルサイズによる自動トラックインクリメント

録音中、指定したファイルサイズに達すると、自動的にファイル名の末尾がインクリメントされ、新しいファイルとして録音が継続されます。

1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示し、**REC SETTING**を反転して►/IIキーを押します。
   REC SETTING画面が表示されます。

```
REC SETTING
FORMAT  : WAV 16bit
SAMPLE  : 44.1k
SIZE    : 2G
PRE REC : OFF
DELAY   : OFF ( 3h22m)
```

2. SIZE項目で自動インクリメントするファイルサイズを選択します。

選択肢：64M、128M、256M、512M、1G、2GB（初期設定）

注 意

ファイル総数が999を超えるインクリメントはできません。

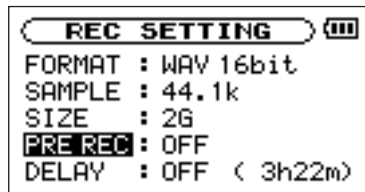
メ モ

ファイル形式によって、同じファイルサイズにおける録音時間が異なります。また録音時間が24時間以上の場合、23時59分59秒として表示されます。

プリレック

録音待機状態から録音開始する時に、開始直前の 2 秒間を含めて録音することができます。
以下の手順でプリレックを設定します。

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、REC SETTINGを反転して►/❚❚キーを押します。
REC SETTING画面が表示されます。

```
REC SETTING
FORMAT  : WAV 16bit
SAMPLE  : 44.1k
SIZE    : 2G
PRE REC : OFF
DELAY   : OFF ( 3h22m)
```

2. PRE REC項目でプリレックのオン／オフを選択します。

選択肢：ON、OFF（初期設定）

注 意

- 録音待機状態が2秒以下であった場合は、その2秒以下の音が含まれます
- SDカードの残量が3秒以下の場合は、プリレックは実行されません。

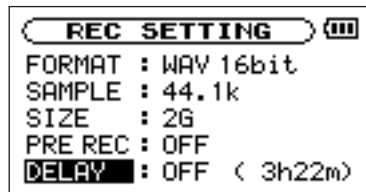
レコ・ディレイ

録音開始時、**RECORD**キーが押されて約0.3秒経ってから録音が開始されます（時間は固定)。

ヒント

RECORDキーの操作音を録音したくない時に便利です。

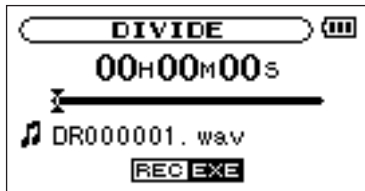
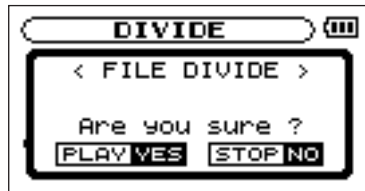
1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示し、**REC SETTING**を反転して**►/II**キーを押します。
   REC SETTING画面が表示されます。

```
REC SETTING
FORMAT  : WAV 16bit
SAMPLE  : 44.1k
SIZE    : 2G
PRE REC : OFF
DELAY   : OFF  ( 3h22m)
```

2. **DELAY**項目でディレイのオン／オフを選択します。

選択肢：**ON**、**OFF**（初期設定）

ファイル分割機能

１つのファイルを任意の時間で2つに分割することができます。また、大きなファイルや数曲が連続しているファイルの分割や、不要部分の削除することもできます。

1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示し、**DIVIDE**を反転して**►/II**キーを押します。
   DIVIDE画面が表示されます。

2. ホイールを使ってファイルを分割する位置を選択し、RECORDキーを押します。
   確認画面が表示されますので、►/❚❚キーを押します。
   PLAYキーを押し再生しながら分割点を選択することも出来ます。
   REWキーで曲の先頭、FWDキーで曲の最後付近に送ることができます。また、曲の先頭では分割は出来ません。

ファイル分割が実行され、ホーム画面に戻ります。

メモ

- 分割すると、ファイル名の末尾に "_a" と "_b" が付加されたファイルが作成されます。
  更に "_a" が付加されたファイルを分割すると "_a_a" と "_a_b" となります。
- SDカードの残量が少ない場合には、実行できない場合もあります。

注意

- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在すると分割できません。

第9章　再生エリアとプレイリスト

ホーム画面上では、⏮／⏭キーを使って再生曲（ファイル）を選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生エリア」として設定することができます。
カード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択がやりやすくなります。
PLAY MODE画面で、再生エリアを全ファイル、現在のフォルダ、プレイリストの中から選択することができます。また、BROWSE画面を使って希望のフォルダを再生エリアに設定することができます。

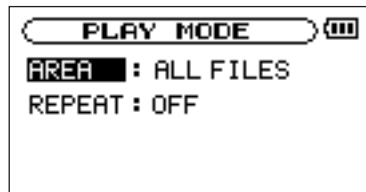
メモ

BROWSE画面では、再生エリア設定にかかわらず、カード上の希望のファイルを選択することができます。

PLAY MODE画面を使って再生エリアを設定する

PLAY MODE画面で再生エリアを選択するには、以下の操作を行います。

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、PLAY MODEを反転して►/IIキーを押します。
PLAY MODE画面が表示されます。

PLAY MODE
AREA : ALL FILES
REPEAT : OFF

2. AREA項目を反転し、►/IIキーを押します。

3. 以下の中から再生エリアを選択します。

ALL

カード上のMUSICフォルダ内の全ファイルを再生することができます。

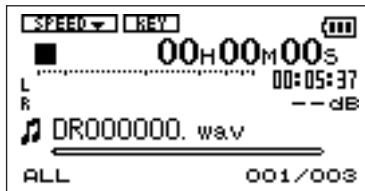
FOLDER

現在選ばれているファイルが含まれているフォルダ内のファイルを再生することができます。

PLAYLIST

プレイリスト内のファイルを再生することができます。（ → 53ページ「プレイリスト」）
プレイリストが存在しない場合は "No PLAYLIST" をポップアップ表示します。

メ モ

再生エリアの現在の設定がホーム画面左下部に表示されます。

BROWSE画面を使って再生エリアのフォルダを選択する (1)

現在の再生エリアにかかわらず、BROWSE画面でフォルダを選択すると、選択したフォルダが再生エリアになります。

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、BROWSEを反転して►/❚❚キーを押します。
   BROWSE画面が表示されます。

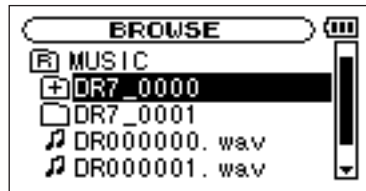
2. 希望のフォルダを反転します。
   BROWSE画面でのナビゲーション操作については、「画面内のナビゲーション」（56ページ）をご覧ください。

3. ►/❚❚キーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

SELECT項目が反転しているときに►/❚❚キーを押します。
ディスプレイがホーム画面に戻り、フォルダ内の最初のファイルが選択されます。以前の再生エリア設定にかかわらず、このフォルダが再生エリアになります。

BROWSE画面を使って再生エリアのフォルダを選択する (2)

再生エリアがFOLDERのとき、BROWSE画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダが再生エリアになります。

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、BROWSEを反転して►/❚❚キーを押します。
   BROWSE画面が表示されます。

2. 希望のファイルを反転します。
   BROWSE画面でのナビゲーション操作については、「画面内のナビゲーション」（56ページ）をご覧ください。
3. ►/❚❚キーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

PLAY項目が反転しているときに►/❚❚キーを押します。
ディスプレイがホーム画面に戻り、選択したファイルの再生が始まります。また、以前の再生エリアフォルダにかかわらず、このファイルを含むフォルダが再生エリアになります。

プレイリスト

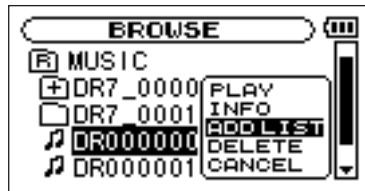
再生するファイルのリスト（プレイリスト）を作成することができます。**PLAY MODE**画面の**AREA**項目で **"PLAY LIST"** を選択すると、プレイリスト上の曲を再生することができます。

プレイリストに登録する

1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示し、BROWSEを反転して►/❚❚キーを押します。
   BROWSE画面が表示されます。

メモ

BROWSE画面の詳細については、「ブラウズ（BROWSE）画面」（56ページ）をご覧ください。

2. プレイリストに登録したいファイルを選択し、►/❚❚キーを押します。
   ポップアップウィンドウが表示されます。

メ モ

ファイルの選択方法の詳細については、「画面内のナビゲーション」（56ページ）をご覧ください。

3. "ADD LIST" を選択して►/❚❚キーを押します。
   曲がプレイリストに登録され、ポップアップウィンドウが閉じます。

4. 必要に応じて上記手順2.、3.を繰り返します。
   リスト上では、登録順に曲番号が付けられます。

プレイリストを編集する

PLAY LIST画面には作成したプレイリストが表示されます。また、この画面を使ってファイルの再生やプレイリストの編集を行うことができます。

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、PLAY LISTを反転して►/❚❚キーを押します。
   PLAY LIST画面が表示されます。

2. 編集したいファイルを反転し、►/❚❚キーを押します。
   ポップアップウィンドウが表示されます。

ホイールを使って希望の項目を反転し、►/❚❚キーを押すと、本機が以下の動作を行います。

PLAY

ファイルを再生します。ディスプレイがホーム画面に戻ります。

ALL CLR

プレイリスト上のすべてのファイルを削除する確認メッセージを表示しますので、削除する場合は**►/❚❚**キーを押します。削除しない場合は**STOP/HOME**キーを押します。

この操作の場合、手順**2.**でどの曲を選択してもかまいません。全ファイルがプレイリストから削除されますが、SDカードからは削除されません。

DELETE

曲をプレイリストから削除します。

プレイリストから削除されますが、SDカードからは削除されません。

MOVE

ファイル名だけでなく、曲番数字も反転表示になります。

以下の操作によってプレイリスト上の順番を変更できます。

ホイールを使って、プレイリスト内で選択ファイルを移動します。

上図は4曲目のファイルを3曲目に移動した例です。

3. **►/❚❚**キーを押します。

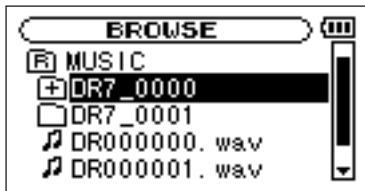
移動が完了して、通常の**PLAY LIST**画面に戻ります。

第10章　ブラウズ（BROWSE）画面

BROWSE画面では、SDカード上のMUSICフォルダ（オーディオファイルの収納フォルダ）の内容を見ることができます。またこの画面で、選択したオーディオファイルの再生や削除、フォルダの作成やプレイリストへの登録などができます。（ → 53ページ「プレイリスト」）

ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからもMUSICフォルダ内のフォルダ構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

BROWSE画面を表示するには、**MENU**キーを押してメニューリスト画面（**MENU**画面）を表示し、**BROWSE**を反転して**►/❚❚**キーを押します。

画面には、BROWSE画面を表示する前にホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダの内容が表示されます。

画面内のナビゲーション

BROWSE画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダや音楽ファイルが「階層ツリー形式」で表示されます。フォルダは第2階層まで作成できます。

- ホイールを使ってファイルやフォルダを選択（反転）します。
- フォルダが反転中に**►►❙**キーを押すと、フォルダの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダが反転中に**❙◄◄**キーを押すと、現在開いているフォルダが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。

画面内のアイコン表示

以下に**BROWSE**画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSICフォルダ（ R ）MUSIC

ルート（ROOT）階層表示中の**BROWSE**画面では、最上段にMUSICフォルダが表示されます。

オーディオファイル（ ♫ ）

音楽ファイルは（ ♫ ）のあとにファイル名が表示されます。

フォルダ（+付きフォルダアイコン ⊞ ）

内部にフォルダが存在するフォルダです。

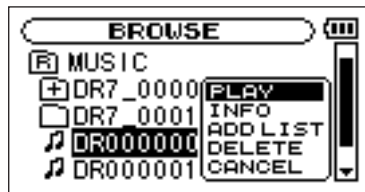
フォルダ（真っ白のフォルダアイコン □ ）

内部にフォルダが存在しないフォルダです。

表示中のフォルダ（開いたフォルダアイコン ）

現在、このフォルダの内容を画面表示しています。

ファイル操作

BROWSE画面内の希望のオーディオファイルを反転して**►/■■**キーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

ホイールを使って希望の項目を反転し、**►/■■**キーを押すと、本機が以下の動作を行います。

- **PLAY**

  ファイルを再生します。ディスプレイがホーム画面に戻ります。再生エリア設定がFOLDERの場合、このファイルを含むフォルダが再生エリアになります。

- **INFO**

  選択中のファイルの情報を表示します。

● ADD LIST

プレイリストにファイルを登録します。（ → 53ページ「プレイリスト」）

● DELETE

ファイル削除の確認メッセージを表示します。►/❚❚キーを押すとファイルが削除され、STOP/HOMEキーを押すと削除が中止されます。

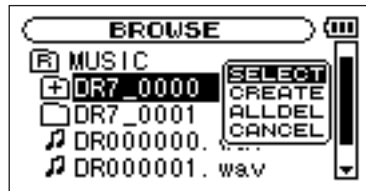
● CANCEL

選択中のファイルに関する操作をキャンセルします。

フォルダ操作

BROWSE画面内の希望のフォルダを反転し、►/❚❚キーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

メ モ

BROWSE画面を開いた際に、オーディオファイルが反転されている場合は、⏮キーを押すと、上のフォルダが反転された状態になります。

ホイールを使って希望の項目を反転し、►/❚❚キーを押すと、本機が以下の動作を行います。

● SELECT

ホーム画面に戻り、フォルダ内の最初のファイルが選択されます。直前の再生エリア設定にかかわらず、このフォルダが再生エリアになります。また録音を行ったとき、このフォルダにファイルが作成されます。

● CREATE

新たなフォルダを作成する確認のポップアップを表示します。►/❚❚キーを押すとフォルダが作成され、STOP/HOMEキーを押すと作成が中止されます。
ただし、第2階層のフォルダ上でSELECTを選択すると、"Layer is deep." が表示され、フォルダ作成を受け付けません。

● ALLDEL

選択中のフォルダ内のファイルを削除しますが、サブフォルダは削除されません。また、リードオンリーのファイルも削除されません。更にDR-07で認識されていないファイルも削除されずに残されます。

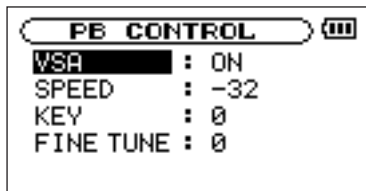
● CANCEL

選択中のフォルダに関する操作をキャンセルします。

第11章　特殊な再生（再生コントロール機能）

本機の再生コントロール機能を使って、再生スピードを変えることができるだけでなく、音程を変えずにスピードを変えたり、逆にスピードを変えずに音程を変えることもできます。これらの再生コントロール機能を使って、練習やフレーズコピーを効果的に行うことができます。

再生コントロール機能を設定する

再生コントロール機能の設定は**PB CONTROL**画面で行います。ホーム画面表示中に**PB CONTROL**キーを長押しすると、**PB CONTROL**画面が表示されます。

この画面内での設定作業を終えた後、**STOP/HOME**キーを押すと（または**PB CONT**キーを長押しすると）ホーム画面に戻ります。
ホーム画面上部では、現在有効になっている再生コントロール機能のアイコンが反転表示になります。

スピードを変える

SPEED項目を使って再生スピードを設定することができます。ただしスピードを設定しただけではスピードコントロール機能は有効ではありません。設定後、**PB CONT**キーを短く押すと、スピードコントロールがオン（有効）になります。オンにするとホーム画面上部の**SPEED**アイコンが反転します。**PB CONT**キーを短く押すたびにスピードコントロールのオン／オフが切り換わりますので、設定したスピードとノーマルスピードを簡単に切り換えることができます。
スピード可変範囲は−50%〜+16%（1%刻み）ですので、最も遅いスピード設定では元のスピードの半分になります。

メ モ

PB CONTキーを短く押すことでオン／オフが切り換わるのは、再生コントロール機能の中のスピード設定機能のみです。他の再生コントロール機能の場合、**PB CONTROL**画面で初期設定以外の値に設定しているとき、常にオンになります。

キーを変えずにスピードを変える

VSA機能（Variable Speed Audition）をオンにすると、曲のキーを保ったままスピードを変えることができます。
VSA項目を使ってVSA機能のオン／オフを切り換えます（初期設定は**ON**）。

キーだけを変える

KEY項目を使って、スピードを変えずにキーだけを半音単位で変えることができます。
KEY項目では、±6半音の範囲（**♭6**〜**♯6**）でキーを上下できます（初期設定は**0**）。
キーを変えると（**0**以外に設定すると）、キーコントロール機能がオンになり、ホーム画面上の **"KEY"** が反転します。
FINE TUNE項目を使うと、キーを微調整することができます。
セント（半音の1/100）単位でキーを上下できます。

メモ

FINE TUNE項目でキーの微調整を行っても、**KEY**項目の設定が **"0"** のときはホーム画面上の **"KEY"** は反転しません。

第12章　ループ再生／リピート再生／1曲再生

通常の再生モードで再生を始めると、再生エリア内の最後まで再生を行った後に停止します。これに対して、本章に述べる操作／設定を行うことにより、ファイル内の希望区間の繰り返し再生、再生エリア内の繰り返し再生、1曲の繰り返し再生、1曲だけの再生を行うことができます。

ループ再生する

以下の手順で、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

1. 再生中（または一時停止中）、ループ再生したい区間の始点で**I/O LOOP**キーを押します。
   現在位置がIN点（始点）として設定されます。

2. ループ再生したい区間の終点で**I/O LOOP**キーを押します。
   現在位置がOUT点（終点）として設定され、IN-OUT点間のループ再生が開始されます。

- ホーム画面の再生位置表示バーの下部には、IN点、OUT点それぞれの設定に該当する位置に "◢"、"◣" が点灯します。またループ再生中、I↔O が点灯します。
- ループ再生を中止するには、**I/O LOOP**キーを押します。同時に、ループ区間の設定もクリアされます。

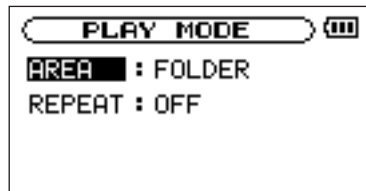
メ モ

MP3ファイルがVBR形式の場合、正確なIN点、OUT点の指定ができない場合があります。

リピート再生する／1曲再生する

現在の曲（1曲）または再生エリア内の全曲を繰り返し再生（リピート再生）したり、1曲だけ再生することができます。

1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示し、**PLAY MODE**を反転して**►/II**キーを押します。
   PLAY MODE画面が表示されます。

PLAY MODE
AREA : FOLDER
REPEAT : OFF

2. REPEAT MODE項目で再生モードを選択します。

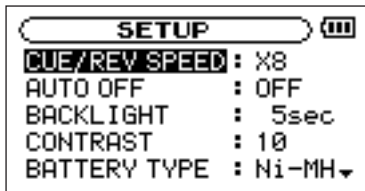
- OFF：
  通常の再生（再生エリア内の連続再生）を行うモードです。
- SINGLE：
  1曲だけ再生するモードです。リピートは行いません。
  ホーム画面に SINGLE が表示されます。
- 1 REPEAT：
  再生中の曲をリピート再生するモードです。
  ホーム画面に 1 が表示されます。
- ALL REPEAT：
  再生エリアで選択した範囲内の全曲をリピート再生するモードです。
  ホーム画面に ALL が表示されます。

メ モ

上記REPEAT MODE項目をOFF以外に設定しているときにループ再生を実行すると、REPEAT MODEが自動的に "OFF" になります。

第13章　環境設定など

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、およびイニシャライズやフォーマットを、セットアップ画面で行います。
セットアップ画面を表示するには、MENUキーを押してメニューリストを表示し、SETUPを反転して►/❚❚キーを押します。

```
SETUP
CUE/REV SPEED  : X8
AUTO OFF       : OFF
BACKLIGHT      :  5sec
CONTRAST       : 10
BATTERY TYPE   : Ni-MH
```

SETUP画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

早送り／早戻しスピードの設定

CUE/REV SPEED項目で、►►❙／❙◄◄キーを押したままにしたときの早送り／早戻しのスピードを設定します。

選択肢：x2、x4、x8（初期設定）、x10

電源のオートオフ設定

AUTO OFF項目で、電池駆動時、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

選択肢：OFF（初期設定、自動オフしない）、3min、5min、10min、30min

バックライトのオートオフ設定

BACKLIGHT項目で、電池駆動時、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢：OFF（自動消灯しない）、5sec（初期設定）、10sec、15sec、30sec

ディスプレイコントラストの調整

CONTRAST項目で、ディスプレイのコントラストを調整します。

選択肢：1〜20（初期設定：10）

電池の種類の選択

BATTERY TYPE項目で、使用する電池の種類を選択します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

選択肢：**ALKAL**（アルカリ乾電池（初期設定））、**Ni-MH**（ニッケル水素電池）、

初期設定に戻す

INITIALIZE項目でイニシャライズを実行することにより、本機のさまざまな設定を初期状態に戻すことができます。

1. **INITIALIZE**を反転して**►/❚❚**キーを押すと、**"Exec"**が反転します。
2. **►/❚❚**キーを押すと、確認のポップアップウィンドウが表示されます。
3. **►/❚❚**キーを押して、イニシャライズを実行します。
   イニシャライズしない場合は**STOP/HOME**キーを押します。

クイックフォーマットする

QUICK FORMAT項目で、SDカードをクイックフォーマットします。
クイックフォーマットを行うと、カード上のすべての音楽ファイルが消去され、**MUSIC**フォルダ、**UTILITY**フォルダおよび **dr-1.sys** が自動生成されます。工場出荷時に記録されている**MANUAL**フォルダと取扱説明書のPDFファイルは消去されます。

1. **QUICK FORMAT**項目を選択して**►/❚❚**キーを押すと、**"Exec"** が反転します。
2. **►/❚❚**キーを押すと、確認のポップアップウィンドウが表示されます。
3. **►/❚❚**キーを押して、クイックフォーマットを実行します。
   クイックフォーマットしない場合は**STOP/HOME**キーを押します。

フルフォーマットする

FULL FORMAT項目で、SDカードをフルフォーマットします。
フルフォーマットを行うと、カード上のすべての音楽ファイルが消去され、**MUSIC**フォルダ、**UTILITY**フォルダおよび **dr-1.sys** が自動生成されます。工場出荷時に記録されている**MANUAL**フォルダと取扱説明書のPDFファイルは消去されます。
フルフォーマットではメモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行します。
クイックフォーマットと比べて多くの時間が掛かりますので、終了するまでしばらくお待ちください。

メ モ

SDカードの種類にもよりますが、2GBのSDカードをフルフォーマットした場合、約20分あるいはそれ以上の時間がかかります。

1. FULL FORMAT項目を選択して►/❚❚キーを押すと、**"Exec"** が反転します。
2. ►/❚❚キーを押すと、確認のポップアップウィンドウが表示されます。
3. ►/❚❚キーを押して、フルフォーマットを実行します。
フルフォーマットしない場合は**STOP/HOME**キーを押します。

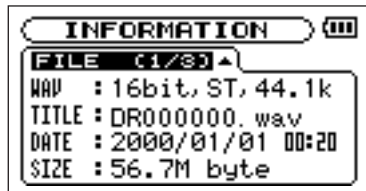
注 意

フォーマットの実行は、別売のACアダプターを使用するか、電池の残量が十分な状態で行ってください。
フォーマット中に電池切れになると、正常なフォーマットができない場合があります。

第14章　曲の情報を見る

インフォメーション画面で、本機の各種情報を見ることができます。
インフォメーション画面を表示するには、**MENU**キーを押してメニューリストを表示し、**INFORMATION**を反転して**►/❚❚**キーを押します。
インフォメーション画面には以下の3ページがあります。ホイールを使ってこれらのページを切り換えることができます。

- ファイル情報ページ（FILE）：
  再生中のオーディオファイルの情報を表示
- カード情報ページ（CARD）：
  セットしているSDカードの使用状況を表示
- システム情報ページ（SYSTEM）：
  本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

ファイル情報ページ

FILEページでは、再生中のファイルの情報を表示します。

WAVまたはMP3項目：

オーディオファイルの形式を表示します。

WAVファイルの場合、ビット長、ステレオ／モノラル、サンプリング周波数（Hz）を表示します。

MP3ファイルの場合、ビットレート（kbps)、CBR／VBR、サンプリング周波数（Hz）を表示します。
（CBR：固定ビットレート、VBR：可変ビットレート）

TITLE項目：

ファイル名を表示します。
MP3ファイルでID3TAGのタイトル情報がある場合は、その情報を表示します。

DATE項目：

ファイルの日付が表示されます。

SIZE項目：

ファイルのサイズが表示されます。

カード情報ページ

CARDページでは、セットしているSDカードの使用状況を表示します。

TOTAL MUSIC：

MUSICフォルダ内にある再生可能なファイル数を表示します。

TOTAL FOLDER：

MUSICフォルダ内にあるフォルダ数を表示します。

TOTAL SIZE：

SDカードの総メモリー容量を表示します。

REMAIN SIZE：

SDカードの残容量を表示します。

システム情報ページ

SYSTEMページでは、本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示します。

CUE/REV SPD：

早送り／早戻しのスピードを表示します。

AUTO OFF：

電源のオートオフ設定を表示します。

BACKLIGHT：

バックライトのオートオフ設定を表示します。

System Ver.：

システムファームフェアのバージョン情報を表示します。

第15章　LCDメニュー一覧

メニュー項目	ページ	設定／動作項目	概要
INFORMATION	FILE（1/3）		ファイル情報の表示
	CARD（2/3）		SDカード情報の表示
	SYSTEM（3/3）		システム情報の表示
BROWSE			SDカード内のファイル操作
PLAYLIST			プレイリストの編集
PLAY MODE		AREA	リピート対象範囲の設定
		REPEAT	リピートモードの設定
INPUT SETTING		INPUT	入力ソース（MIC/LINE）の設定
	MIC	GAIN	MIC入力のGAIN設定（LOW/MID/HIGH）
		TYPE	MIC入力のステレオ/モノの設定
		POWER	MIC IN入力へのファントム電源のオン／オフ
		LOW CUT	Low Cut Filterの設定（OFF/40Hz/80Hz/120Hz）
		LEVEL CTRL	MIC入力レベル制御機能の設定（OFF/AUTO/Limitter）

メニュー項目	ページ	設定／動作項目	概要
REC SETTING		FORMAT	音楽ファイルのフォーマット設定
		SAMPLE	サンプリング周波数の設定
		SIZE	最大ファイルサイズの設定
		PRE REC	プリレック機能のオン／オフ
		DELAY	レコディレイ機能のオン／オフ
DIVIDE			ファイル分割の実行
SETUP		CUE/REV SPEED	早送り/巻き戻しスピードの設定（x2/x4/x8/x10）
		AUTO OFF	電池駆動時の自動シャットダウン時間の設定（Off/3min/5min/10min/30min）
		BACKLIGHT	自動バックライト消灯時間の設定（Off/5sec/10sec/15sec/30sec）
		CONTRAST	LCDコントラストの設定
		BATTERY TYPE	電池のタイプの選択 (アルカリ乾電池／ニッケル水素電池)
		INITIALIZE	初期設定の実行
		QUICK FORMAT	SDカードのクイックフォーマット
		FULL FORMAT	SDカードのフルフォーマット
DATE/TIME			日時の設定

第16章　DR-07メッセージ一覧

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
DR-07では状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
File Name ERR	**「ファイル名が不正です。」** Divideでファイル名の長さが200文字を超えた場合に表示されます。
Dup File Name	**「同じフォルダ内で、そのファイル名は既に使用されています。」** DIVIDE時に作成されるファイル名と同じファイルが既に存在する場合に表示されます。
File not found	**「ファイルが見つかりません。」** 対象の音楽ファイルが見つからないかファイル内容が壊れている場合に表示されます。 対象の音楽ファイルを確認してください。
Non-Supported	**「ファイルの形式がサポート対象外です。」** 対象の音楽ファイルの形式が対象外である場合に表示されます。 対象ファイルのエンコード形式を確認してください。
Battery Empty	**「電池が空です。」** バッテリーが殆ど空の状態の時に表示されます。 ACアダプタを接続するか、または電池を交換してご使用下さい。

メッセージ	内　容　と　対　処　方　法
I/O Too Short	**「IN ポイントとOUTポイントが近すぎます。」** **I/O LOOP**キーでループ再生に入ろうとするとき**IN**ポイントと**OUT**ポイントが非常に近すぎると表示されます。一秒以上の間隔を空けて下さい。 **IN**ポイントと**OUT**ポイントを再度設定し直して見てください。
File Not Found PLAYLIST	**「プレイリスト上のファイルが見つかりません。」** プレイリストに登録されているファイルが見つかりません。 MUSICフォルダに対象のファイルがあるか確認してください。
No PLAYLIST	**「プレイリストがありません。」** プレイモードを「PLAYLIST」にした場合、プレイリストにファイルが一つも登録されていない場合に表示されます。 プレイリストへファイルを登録してください。詳しくは取扱説明書53ページ「プレイリストに登録する」をお読みください。
PLAYLIST FULL	**「プレイリストが一杯です。」** プレイリストに99曲登録された状態で新たにファイルを登録しようとしたとき表示されます。 プレイリストから不要なファイルを削除してください。 詳しくは取扱説明書54ページ「プレイリストを編集する」をお読みください。
MBR Error Init CARD	**「カードの初期化がが不正です。」** カードのフォーマットが異常、もしくは壊れています。 **"Are you Sure?"** 表示の状態で**►/❚❚**キーを押すことでカード全域がFATでフォーマットされます。 **注 意** ：FATフォーマットが実行されるとカード内のデータはすべて消去されます。

第16章　DR-07メッセージ一覧

メッセージ	内　容　と　対　処　方　法
Format Error Format CARD	**「カードのフォーマットが不正です。」** カードのFATフォーマットが異常、もしくは壊れています。 このメッセージはUSB接続したパソコンからFATでフォーマットした場合や新規購入のカードを挿入した場合でも表示されます。FATフォーマットは必ず製品本体で行う必要があります。 **"Are you Sure?"** 表示の状態で►/❚❚キーを押すことでカード全域がFATでフォーマットされます。 **注 意** ：FATフォーマットが実行されるとフラッシュメモリ内のデータはすべて消去されます。
Not Found File Make Sys File	**「システムファイルがありません。」** 本機を使用するために必要なシステムファイルが無い場合に表示されます。 **"Are you Sure?"** 表示の状態で►/❚❚キーを押すことでシステムファイルが自動的に作られます。
Invalid SysFile Make Sys File	**「システムファイルが不正です。」** 本機を使用するために必要なシステムファイルが異常、もしくは壊れています。 **"Are you Sure?"** 表示の状態で►/❚❚キーを押すことで現在のファイルは破棄され、正常なシステムファイルで自動的に上書きされます。
Invalid Card Change Card	カードが何らかのエラーとなってしまう場合に表示されます。
Protected Card Change Card	MUSICフォルダなど所定のフォルダ、ファイルが無い状態でカードにプロテクトが掛かっていると起動時に表示します。
Write Timeout	カードへの書き込みが間に合いませんでした。 ファイルをPCへバックアップの上、フォーマットを実行してください。

第16章　DR-07メッセージ一覧

メッセージ	内　容　と　対　処　方　法
Card Full	カードの残容量がありません。 不要なファイルを削除するかPCへ移動してください。
Layer too Deep	これ以上深い階層のフォルダを作成する事はできません。
Can't Divide	Divide実行時に分割位置が適切でありません。（曲の先頭、曲の最後）
Max File Size	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。 あるいは録音時間が24時間を超えました。
File Full	フォルダとファイルの総数がすでに999個です。 不要なファイルを削除するかPCへ移動してください。
Card Error	カードによる何かしらのエラー 一旦電源を切り、カードを正常なものと差し替える必要があります。
Not Continued	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談下さい。
File Error	
Can't Save Data	
Player Error	
Device Error	
Writing Failed	
Sys Rom Err	

第16章　DR-07メッセージ一覧

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>内　容　と　対　処　方　法</th></tr>
<tr><td>System Err 50</td><td rowspan="10">これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。
これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談下さい。</td></tr>
<tr><td>System Error 1</td></tr>
<tr><td>System Error 2</td></tr>
<tr><td>System Error 3</td></tr>
<tr><td>System Error 4</td></tr>
<tr><td>System Error 5</td></tr>
<tr><td>System Error 6</td></tr>
<tr><td>System Error 7</td></tr>
<tr><td>System Error 8</td></tr>
<tr><td>System Error 9</td></tr>
</table>

オーディオ入出力定格

● MIC IN入力

端子：3.5mmミニホンジャック（ステレオ）
（プラグインパワー対応）

入力インピーダンス：30KΩ

- **GAIN HIGH時**

基準入力レベル：－64dBV

最大入力レベル：－48dBV

- **GAIN MID時**

基準入力レベル：－48dBV

最大入力レベル：－32dBV

- **GAIN LOW時**

基準入力レベル：－32dBV

最大入力レベル：－16dBV

● LINE IN入力

端子：3.5mmミニホンジャック（ステレオ）

入力インピーダンス：23KΩ

基準入力レベル：－10dBV

最大入力レベル：＋6dBV

● Ω/LINE OUT出力

端子：3.5mmミニホンジャック（ステレオ）

- **ライン接続時**

基準出力レベル：－14dBV

最大出力レベル：＋2dBV

- **ヘッドホン接続時**

最大出力：15mW + 15mW
（32Ωヘッドホン接続時）

オーディオ性能

● 周波数特性（LINE IN → Ω/LINE OUT)：

20Hz～20kHz, ＋1/－3dB

● 歪率（LINE IN → Ω/LINE OUT)：

0.015%以下（1kHz, ＋6dBV入力時）

● S/N比（LINE IN → Ω/LINE OUT)：87dB以上

第17章　仕様

一般

● **対応オーディオファイル：**
MP3ファイル：32kbps～320kbps、サンプリング周波数44.1kHz／48kHz、VBR再生対応、Ver～2.4のID3TAGをサポート
WAVファイル：サンプリング周波数44.1kHz／48kHz、ビット長：16／24ビット

● **記録媒体：**
SDカード（64Mバイト～2Gバイト）およびSDHCカード（4Gバイト～32Gバイト）

● **ファイルシステム：**
FATパーティション：FAT16／32

● **電池持続時間（連続再生時）：**
約7.5時間（JEITA録音時間）
約8.5時間（JEITA音楽再生時間）
（アルカリ乾電池使用、バックライト消灯、mp3 128kbps時。使用状況により変動することがあります。）

● **使用温度範囲：**5～35℃

● **消費電力：**0.7W（MP3再生時）

● **外形寸法：**
55（幅）× 137（高さ）× 27（奥行）mm（突起部含まず）

● **質量：**130g（電池を含まず）

別売アクセサリー

● **ACアダプター：**PS-P520

接続するパソコンの条件

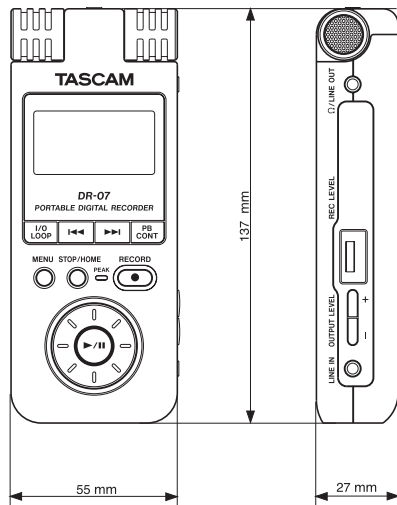
● **Windowsマシン：**
Pentium 300MHz以上
128MB以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

● **Macintoshマシン：**
Power PC、iMac、G3、G4　266MHz以上
64MB以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

● **推奨USBホストコントローラー：**
Intel製チップセット

● サポートOS：

Windows Windows 2000 SP4以上、
Windows XP 、Windows Vista
Macintosh Mac OS X 10.2以上

寸法図

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00〜12:00 / 13:00〜17:00です。

タスカム営業技術　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530
東京都多摩市落合1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in China